

2025年11月23日 聖霊降臨後最終主日礼拝説教  
「救いに至る愚かさ」（ルカ23章32～43節）

○ルカ23章33節のみことば

「\*そこで人々はイエスを十字架につけた。」

\*髑髏（ゴルゴタ）と呼ばれていたエルサレムの丘で

人となった神の子を拒む者たちが、この方を十字架につけ、神の命を人の手で奪う道が備わった。それでも、父なる神は人々の選びを覆さず、独り子の死を黙って見るだけだった。

☆神の子を死に至らす人の愚かさ、独り子を人のもとから取り戻さない神の愚かさをおして、救いが現わされる。

○ルカ23章34節のみことば

「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです。」

神を殺めることに突き進む人々でさえ憐れんだキリストの祈りが、ご自身の死をもって、神の御心に叶うものとなる。

※十字架の苦しみと死を受けた命と引き換えに与えられた赦しと憐れみに与かる命に、わたしたちは生き続けよう。

今日のみことば：ルカ23章42節

「\*あなたの御国<sup>みくに</sup>においでになるときには、わたしを思い出<sup>おも</sup>してください」

\*【原語】あなたが王として治められる天の御国

隣の十字架にいた一人の罪びと。彼の罪は、死に値したが、それでも、神の子イエスに依り頼んで、命を託そうとした。

☞救いを求めた罪びとの願いさえも聞かれるキリストは、わたしたちの切なる祈りにも、必ず、耳を傾けられる。

○ルカ23章43節のみことば

「あなたは今日わたしと一緒に\*楽園にいる」

\*罪なき者たちが集う天にある新しきエデンの園

※あなたの命もキリストに委ねて、「イエスさま、わたしを思い出して、御国へと導いてください」と願い続けよ。